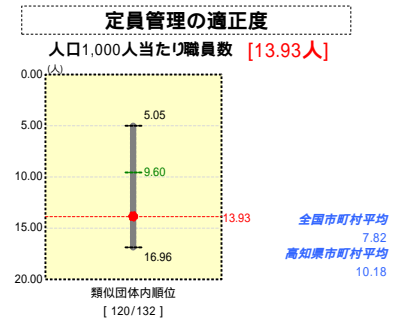
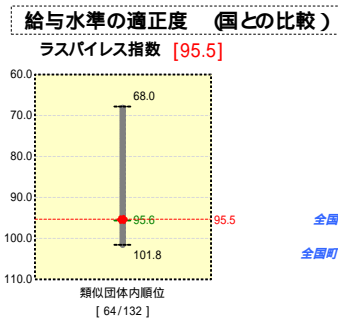
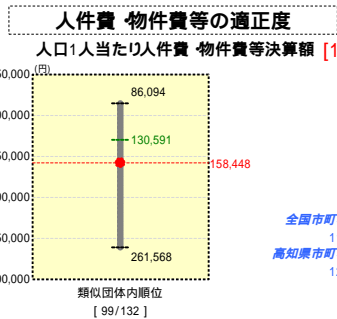
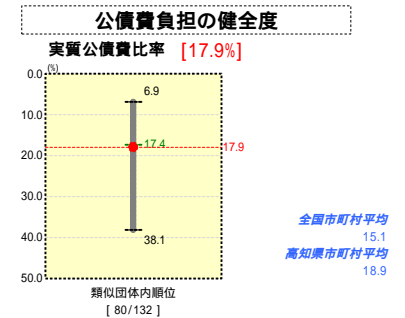
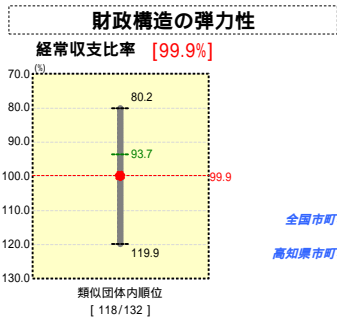
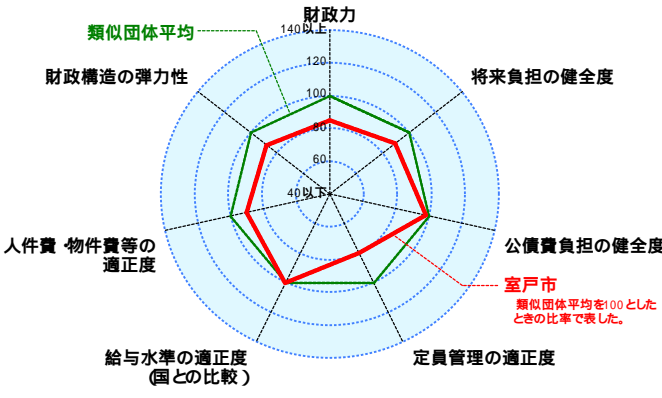
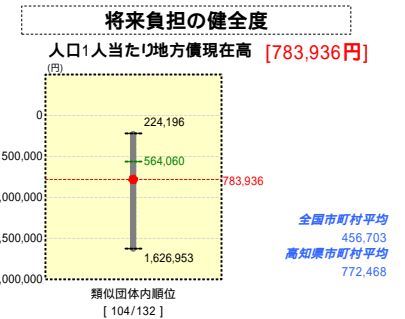
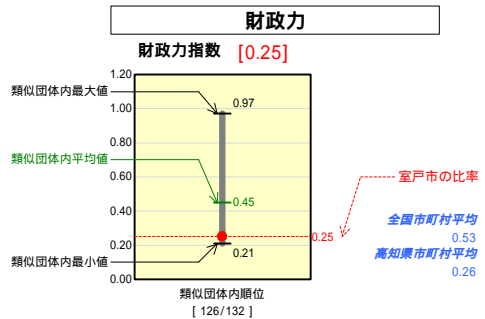


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

高知県 室戸市

人口	18,086 人(H19.3.31現在)
面積	248.25 km ²
歳入総額	11,192,009 千円
歳出総額	11,064,242 千円
実質収支	115,359 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数 長引く水産業をはじめとする地域産業の低迷及び人口減少等により、市税の歳入構成比が11.2%と財政基礎が弱く財政力指数は0.25と類似団体平均を大きく下回っているため、室戸市集中改革プラン「推進計画」に基づき、退職者一部不補充や給与カット等による人件費の削減や物件費の抑制等、歳出の徹底的な見直しを実施する。また、平成19年度より滞納整理課を新設し、市税、貸付金等の未収金の徴収強化に取り組み、財源確保に努めている。

経常収支比率 物件費以外は類似団体平均を上回っており、特に人件費が退職者一部不補充及び給与カット等により削減を図っているものの34.5%と類似団体平均を大きく上回っている。また、扶助費についても生活保護費の割合が高く、以前より類似団体平均より高い水準で推移している。今後は「室戸市集中改革プラン」推進計画に基づき引き続き退職者一部不補充や給与カット等による人件費の削減や物件費の抑制等、歳出の徹底的な見直しを実施する。

実質公債費比率 平成18年度に借換をおこなったことから半年度比率の上昇は一時的に抑制しているものの、借換に係る元金償還が始まる平成20年度から上昇に転じ、平成22年度にピークを迎える。今後は「室戸市集中改革プラン」推進計画に基づき、投資的事業については財政状況との整合性を図りながら計画的に実施することとし、新規発行の抑制に努める。

人口一人当たり地方債現在高 市政課題である農林水産業の基盤整備、地域改善対策事業、公営住宅建設事業等に積極的取り組み

組んできた結果、公債費の累積を招き類似団体平均を上回っている。今後は「室戸市集中改革プラン」推進計画に基づき、投資的事業については財政状況との整合性を図りながら計画的に実施することとし、新規発行の抑制をおこなう財政の健全化に努める。

ラスパイレズ指数 平成16年度から18年度にかけて「室戸市財政健全化計画」に基づき、職員の給与カット(特別職7%、一般職4~5%)や各種手当の引き下げの実施及び給与構造改革等の制度改革等に率直に率直に完全実施したことにより類似団体平均を上回っている。今後は「室戸市集中改革プラン」推進計画に基づき、引き続き給与カット(一般職2~3%)等をとおこなう、より一層の職員給与の抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数 隣接する東洋町が消防業務を単独でおこなえないため、13名の消防職員を本市職員として任用している特殊事情もあり、類似団体平均を上回っている。定数管理の適正に向けては、退職者一部不補充や組織改革等により、過去5年間で50名の削減に取り組んできた。今後は「室戸市集中改革プラン」推進計画に基づき、平成22年度に250名体制とする。(※20.4.1見込 264名)

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 類似団体平均を上回っているのは主に人件費が要因となっており、隣接する東洋町消防職員(13名)を本市職員として任用している特殊事情による職員数増や4級以上の職員構成比が高くなっていることなどがその原因となっている。今後は「室戸市集中改革プラン」推進計画に基づき、職務階級の見直し(6級班長職の位置づけ)、退職者一部不補充や給与カット等による人件費の削減に努めている。